スガの色 2014
SUGA COLOUR APPEARANCE

2014年11月27日(木)、28日(金)に新宿全労済ホール/スペース・ゼロにて、スガの色2014 SUGA COLOUR APPEARANCEを開催致しました。新製品4機種を含むスガ試験機色彩測定機器の全機種を一堂に展示、測定デモンストレーションや技術セミナーを行い、2日間で延べ200名の大勢の皆様にご来場頂きました。誠にありがとうございました。

今後も革新的な新製品開発を通じ、お客様の色彩管理を支援して参りたいと存じます。

会場の様子

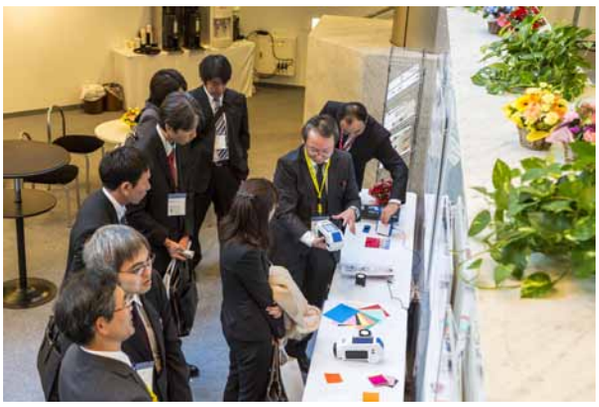
代表取締役社長　須賀茂雄
2015年1月16日

製品展示（新製品は次頁に掲載）

現在販売中のカラーメーター、グロスメーター、ヘーズメーター、写像性測定器、標準光源や反射率計など全16機種と、新製品のカラーメーター、グロスメーター4機種を加えた合計20機種を展示致しました。当日試験片をお持ち頂いたお客様には、実際に装置を使用し測定して頂きました。多くのお客様が熱心に説明員の説明に耳を傾けていました。特に、展示コーナーでは、試験片がどの程度、鮮明にゆがみなく見えるかの度合いを測定する、写像性測定器 ICM-1T 型に注目が集まりました。
また、新製品展示コーナーではコンパクトで手軽に光沢を測定できるグロスメーター GC-1 型に注目が集まりました。

注目を集めた写像性測定器　ICM-1T型(左)と
新製品のグロスメーターGC-1型(右)

展示コーナー



新製品展示コーナー

デモンストレーション

製品を使い、試験片の測定方法や装置の特長を説明いたしました。

1. 試験片の形状の違いによる色評価の方法について
色を評価するときに注意することとして、装置の光学条件の違いや、試験片の形状に合わせた測定方法があります。製品を用いて光学条件の違いを説明し、評価が難しいとされる試験片の具体的な評価方法について事例を挙げながら説明しました。

2. 質感の評価方法（光沢・ヘーズ・写像性）について
物体の質感を評価する方法（光沢・ヘーズ・像鮮明度）について、それぞれの概要を製品を用いて規格や使用方法を説明し、さらに様々な質感の評価方法の違いを考察することによって、試験片に応じてどの装置を使って評価をするべきかを説明しました。

3. 携帯型分光測色計の機能説明と色差について
携帯型分光測色計 CC-mの特長や対応する規格、製品を用いての詳しい使い方の説明を行いました。また、一般的に使用されている色差式ΔE^*_{ab} と、新しい色差式ΔE_{00} の違いについて、実際の試験片を用いて目視と結果の違いを比較しました。

デモンストレーションの様子